

## 2021 年花粉症治療について

- 1.2021 年の岩手県におけるスギ花粉の飛散量は 2020 年に比べ 13%多いと見込まれています。そのため十分な対策が必要です。
- 2.花粉症症状と新型コロナウイルス感染症とは似ている症状が多くあります。そのためこれらの病気の見分けがつかなくなる混乱を避けるためにも、花粉症症状を事前治療で抑えることが重要です。
- 3.「初期療法」 花粉飛散が見込まれる 1～2 週間前には抗ヒスタミン薬の服用を開始することが最も有効な治療方法です。
- 4.コロナ対策で換気が徹底されていますが、一方花粉症に悩む方には換気により窓を開けることで室内にスギ花粉が室内に入り込むことが考えられます。換気の際にレースカーテンの使用や網戸を使用することで、入り込む花粉を減らすことができます。
- 5.例年は花粉症を治療せずに我慢している人も今年は治療を受け、予防を徹底することが必要です。
- 6.2019 年に世界で初めて抗 IgE 抗体薬が花粉症治療に対し承認を受けました。この治療は花粉症の程度がクラス 3 以上の重症な方、今までの花粉症治療で効果がなかった方、など治療を受けるのに制限があること、注射の治療なので痛みを伴うこと、1 シーズン 35,000 円程度の費用がかかる大変高価な治療方法ですが、重症花粉症患者さんにとっては大変有効な治療です。